

◆世界エイズデー in Yokohama 2014 開催しました！

12月1日の世界エイズデーを記念して、2014年11月22日（土）に横浜駅東口・新都市プラザで行われた街頭キャンペーンの様子をレポートします！

毎年恒例のHIV・エイズ基礎知識クイズラリー。チャレンジした方には参加賞も！



レッドリボンを手作りするコーナーも♪たくさんの笑顔に出会えました(*^^)



天気にも恵まれ、たくさんの方にご参加いただきました♪ありがとうございました♪



市内で活躍するNPO/NGOボランティアや若者ボランティアらがキャンペーンを盛り上げてくれました！センターのマスコットキャラクター・コムちゃんも大忙しの日でした♪

◆平成27年度青少年向け啓発事業の募集開始について

横浜AIDS市民活動センターが行う平成27年度青少年向け啓発事業の応募受付は、平成27年4月中旬～5月中旬を予定しています。（応募要項は3月下旬にセンターHPに掲載予定）

【青少年向け啓発事業とは】

横浜市内の学校及び団体の青少年（小学生高学年・中学生・高校生）を対象に、エイズについての正しい知識の普及及び患者・感染者への理解を図るために、センターが委託したNPO/NGO等から講師を派遣し、エイズに関する講演会やワークショップを実施します。

お問い合わせ：横浜AIDS市民活動センター TEL 045-650-5421

おーぶん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>

発行：横浜AIDS市民活動センター
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。
住所：〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地尾上町ビル9F / TEL:045-650-5421
FAX:045-650-5422 / E-mail:info@yaic.gr.jp
平日：13:00～20:00/土・祝：10:00～17:00
休館：日/火
監修：横浜市健康福祉局

特集 エイズと市民ボランティア

くわしくは中面へ！

無料公開講座のお知らせ



① 役立つ！エイズの授業～実践編～

講師：HAATAS（認定NPO法人シェア＝国際保健協力市民の会 エイズボランティアチーム）

日時：2015年3月21日（土祝）13:30～15:30

会場：横浜AIDS市民活動センター（定員15人）JR関内駅北口/横浜市営地下鉄関内駅1番出口から徒歩1分
内容：HAATASが実際に高校などで行っている、『動き楽しみながらHIV・エイズを学べる手法』を紹介し、感染が広がる様子を体感できるシミュレーション『水の交換や、感染経路について理解を深められるカードを使ったワークショップも体験しながら、内容の組み立て方や実施にあたってのコツなどについてもお伝えいただきます。

② クラスに1人おられるかもしれない！性的マイノリティへの対応

講師：NPO法人SHIP

日時：2015年3月28日（土）13:30～15:30

会場：横浜中央YMCA（定員50人）JR関内駅南口/横浜市営地下鉄関内駅1番出口より徒歩3分
内容：性的マイノリティの子どもたちは、周囲のちょっとした否定・差別的言動に生きづらさを感じ、先生や親などにも相談できずに孤立しがちです。ネット上の不正確な情報に惑わされたり、交遊関係のトラブルに巻き込まれたりすることもあります。直面する現状を理解しつつ、自尊感情を高めながら成長するために学校・地域の大人はどのように対応していけばよいのでしょうか？ 長年支援活動に取り組む講師と当事者の子どもたちにお話しいただきます。

◆申込先：横浜AIDS市民活動センター

お名前、希望講座名、ご連絡先（E-mail、TEL、FAXのいずれか）を以下のE-mailかFAXにお送りください。（1週間以上経過後も申込受理の連絡がない場合はお電話ください）

E-mail: info@yaic.gr.jp
FAX: 045-650-5422



認定NPO法人AIDSネットワーク横浜

1993年発足以来、横浜を中心にエイズの予防・啓発活動や電話相談活動を行っています。

◆団体を設立した当時の設立経緯や社会状況を教えてください。

→1994年「第10回国際エイズ会議」(横浜開催)を前に、ボランティアを志す人たちが集まり団体を立ち上げました。

当時、国内のHIV感染者・エイズ患者の新規感染報告が急増。効果的な治療方法が確立されておらず、HIV・エイズは人々にとって「死に至る病」でした。HIV陽性者(感染者)に対する差別・偏見は深刻で、病と闘いながらも、病について「人に言えない、相談できない」人々が多くいました。当事者が抱える不安や人々の感染不安を解消する場として、匿名電話相談を始めました。

◆国内の新規感染報告は減少せず、危機的な状況は続いています。一方で、報道での扱いは少なくなり、「HIV・エイズは終わった病気」と思う人も少なくありません。関心低下が心配されるなか、電話相談の件数も減っていますか？

→いいえ、減っていません。特に、20代や10代からの感染不安の相談が増えています。現在、治療は進歩し、HIV・エイズは「コントロールしながら長くつきあっていく病」になったのですが、「人に言えない、周囲に気軽に相談できない、恥ずかしい」と感じている相談者が依然として多いと感じています。

～エイズと市民ボランティア～

横浜でボランティア活動を推進する
NPO/NGOにインタビューしました!!



◆どのような質問が多いのですか？

→感染経路など基礎知識に関する質問が多いです。「ツイッターやネットでみたけど、これって本当ですか!?!」と、不正確な情報に混乱しているケースも少なくありません。

一方で、学校の課題を調べるために質問してくれる10代もいます。相談や質問は小さなことでも大丈夫。匿名なので、安心して電話してください。

AIDSネットワーク横浜の電話相談(匿名)

TEL:045-201-8808

→水曜日18時~21時、土曜日15時~18時

電話してみよ



ネットには根拠のない情報や間違った知識があふれているよ

でも...

内容がそれぞれ違ったり、偏見のような表現もあったり...信じて大丈夫なのか?さらに不安になってきた...泣



◆HIV・エイズの流行は続いています。基礎知識について、もっと多くの人に知ってもらいたいですね。

→HIV・エイズは性感染症(性的接触で感染する病気)の一つ。性器クラミジア感染症や梅毒など他の性感染症もあわせて、予防や検査について知識を身につけ行動につなげてほしいと思います。

また、HIV陽性者が暮らしやすい社会をつくることも大切です。正しい知識と正しい理解をこれからも市民に伝えていきたいです。

認定非営利活動法人
AIDSネットワーク横浜

〒231-0015横浜市中区尾上町

3-39尾上町ビル9F横浜AIDS

市民活動センター内

TEL: 045-201-8808

E-mail: any@netpro.ne.jp

URL:

http://www.netpro.ne.jp/~any/

アジアの女性と子どもネットワーク

1996年から、社会的弱者になりやすいアジアの女性と子どもの権利を守る活動をしているNGOです。タイでの学校建設やエイズ孤児の通学を支えるなど、教育支援を中心に活動しています。

◆なぜ「アジアの女性と子ども」のために活動を始めたのですか？

→1996年、スタディツアーでタイ北部山岳民族の村を訪問しました。そこで、子どもたちが教育を受けられる場所がないこと、タイ語を学べなかった大人は仕事につけず貧困が連鎖する状況を知りました。我が子に教育を受けさせたいという母親の強い思いに心を打たれ、子どもが安心して勉強できる学校を建てる活動を有志と始めました。1998年学校完成、子どもは喜び、母親は通学を支える現金を得るために、布織りなどの仕事に励む姿もありました。



一方で、貧しい親がだまされて子どもを売るといふ人身売買問題やHIV感染が深刻化。親や地域への啓発も並行して取り組みました。

◆「遠い国の話」と感じてしまいがちな海外支援活動ですが、還元されるものはありますか？

→困っている人が立ち上がるために手をさしのべることは大切です。支援した子どもたちは周囲の子どもたちに手をさしのべます。また、日本に興味を持ち交流を深めてくれます。2011年の東日本大震災の時には、私たちに励ましてくれました。

国内では、多くの若者が成長しました。スタディツアーでタイを訪問した若者が海外の社会課題を知り、日本の現状を振り返りつつ、「社会を良くするために何をしたら良いのか」を真剣に考え行動する姿を見守ってきました。大学研究者、国際協力専門家、企業で社会貢献する人、NGO立ち上げ者、そして、日頃の活動を支えてくれるメンバーなど、様々に活躍しています。



◆10代や20代のボランティアと活動する際に大切にしていることはありますか？

→自主性を大切にし、見守ります。固定観念がなく感性が豊かですから、シンポジウムを一から企画したり、ダンス上演と組み合わせた活動をしたりするなど、ユニークな取り組みがたくさん生まれました。こうした経験が自信となり、次へとつながっていきます。



◆ボランティア活動へ最初の一步を踏み出す前の若い世代へ、メッセージをお願いします。

→「人のため」だけではなく、「自分のため」に取り組んでほしいと思います。興味があることに対して手をあげ、勇気を出して飛び込んでみてください。考えたり、学んだりしたことは全てあなたの力になります。

何をしたらよいか分からないときは、聞いた話や読んだ本のことを周囲に伝えてみましょう。

アジアの女性と子どもネットワークにも気軽に来てくださいね!!



アジアの女性と子ども
ネットワーク

〒231-0015横浜市中区尾上町

3-39尾上町ビル9F横浜

AIDS市民活動センター内

TEL: 045-650-5430

E-mail: awc@h6.dion.ne.jp

URL:

http://www.awcnetwork.org/